

## ★ 操 作 方 法 ★

マンガのページの上でクリックすると次のページを表示します。右クリックすると前のページに戻ります。

※ Macintosh で、マウスに右クリックの設定をしていない方は、キーボードの「control」キーを押しながらマウスをクリックすると前のページに戻ります。

※ iPad では、上下スクロールでご覧いただけます。

事業局

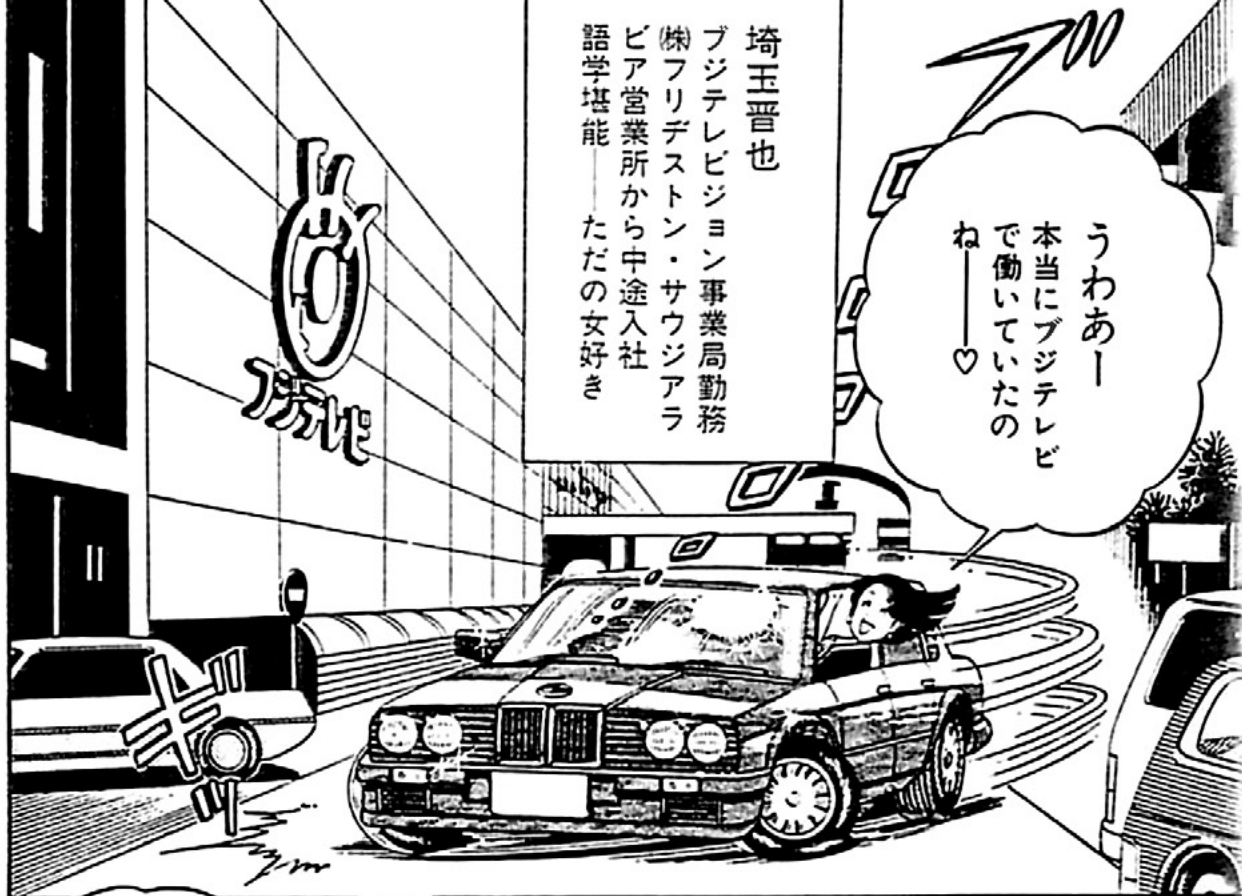
# 埼玉晋也の激春



リッキー谷内

うわあー  
本当にフジテレビ  
で働いていたの  
ね——♡

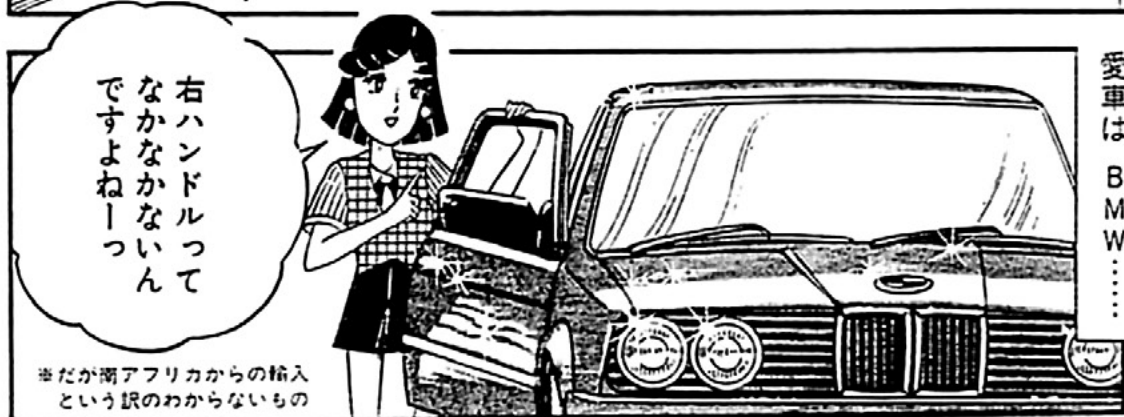
埼玉晋也  
フジテレビビジョン事業局勤務  
株式会社フジテレビジョン・サウジアラ  
ビア営業所から中途入社  
語学堪能——ただの女好き



愛車はBMW……

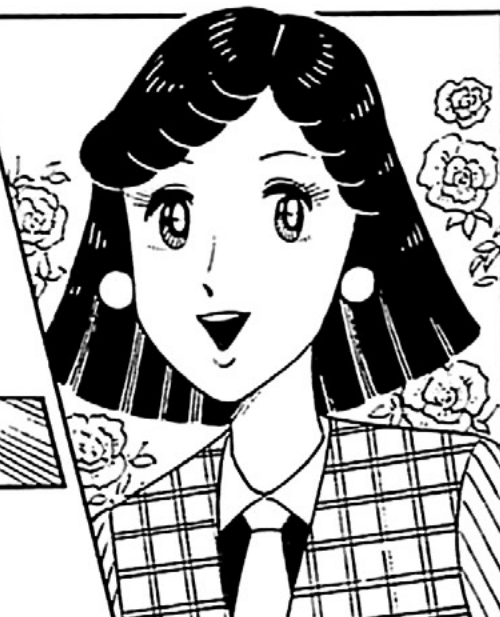
右ハンドルって  
なかなかないん  
ですよーっ

※だが南アフリカからの輸入  
という訳のわからないもの



お伴の彼女はデパートギャル

時計はロレックス  
デイトジャスト

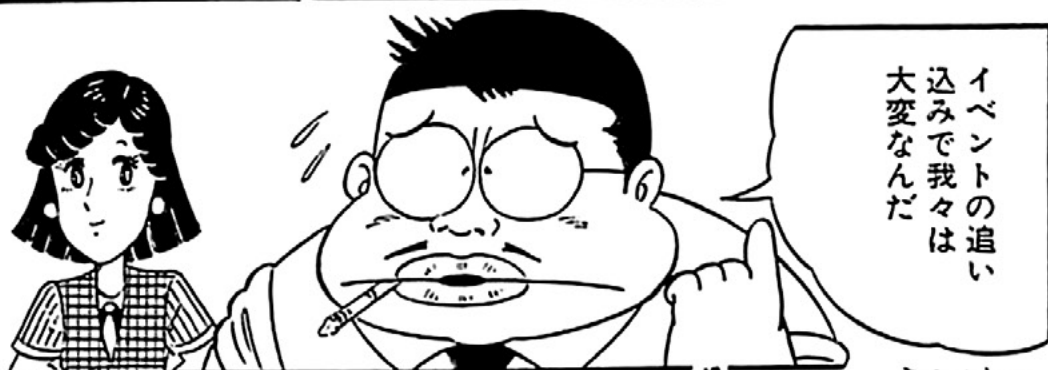


# 事業局

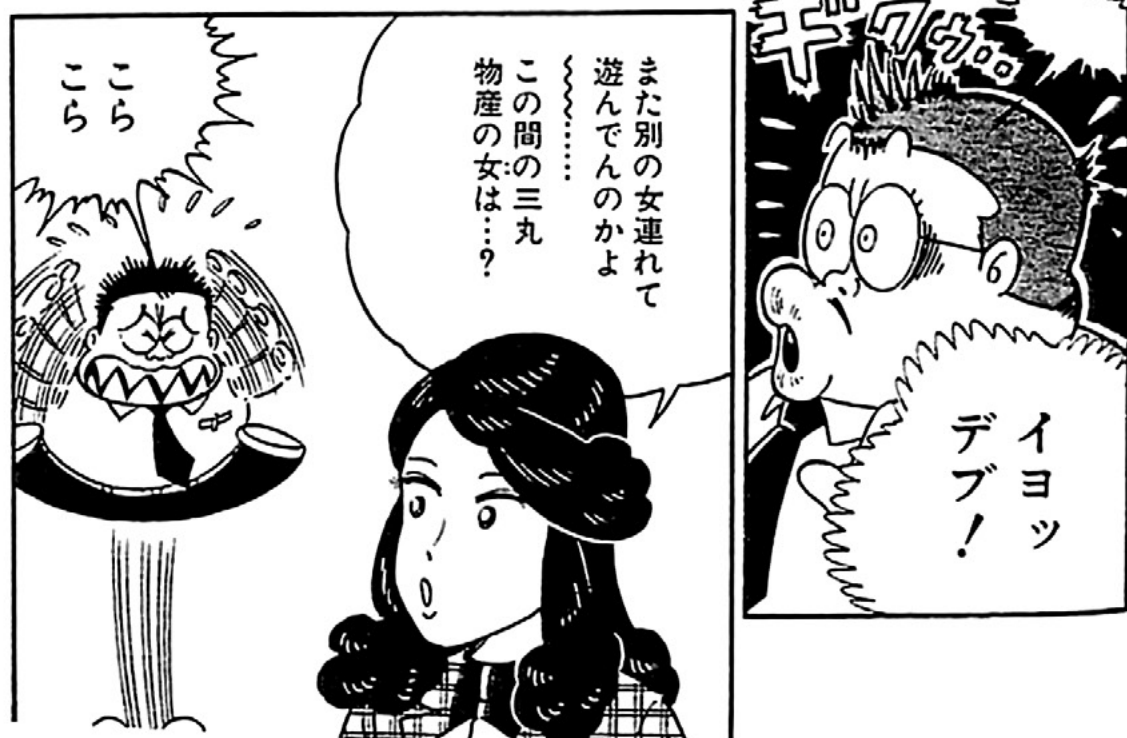


男らしい  
職場ね〜

きょろ〜



イベントの追い  
込みで我々は  
大変なんだ



こら  
こら

また別の女連れて  
遊んでんのかよ  
.....  
この間の三丸  
物産の女は...?



イヨッ  
デブ!



そんな  
ばかな！



やる事にな  
なったんだぞ  
えらいんだぞ

ボクは初めて  
プロデューサーを



部長も何  
考えてん  
だか……



信じられん



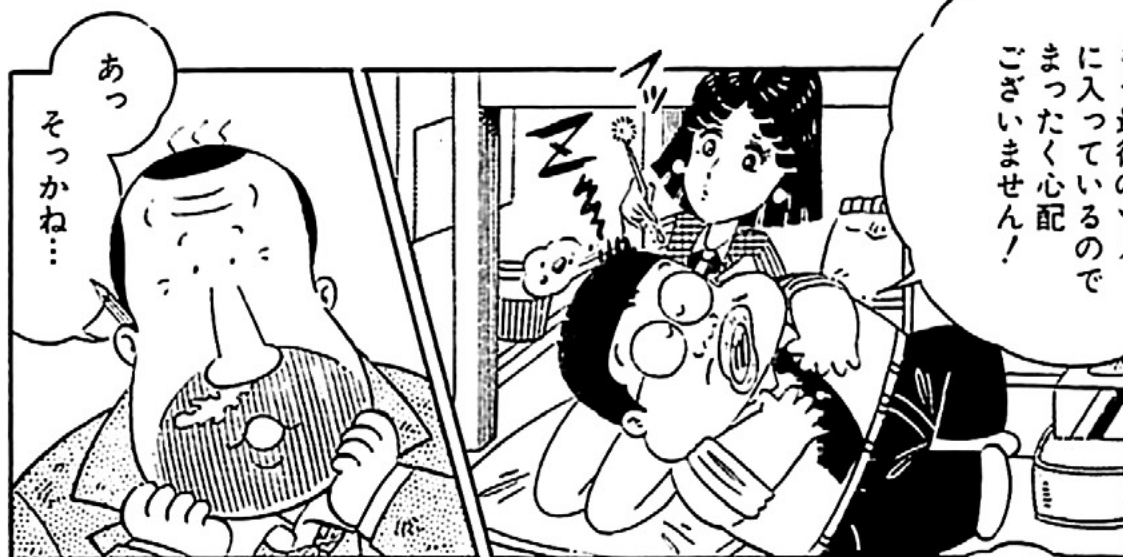
進み具合は  
どんなもんかね？

コージーボールの件  
だけでも……さっ



あ~~~~  
埼玉くん！

もう最後のツメ  
に入っているので  
まったく心配  
ございません！



あっ  
そっかね…

なら  
いい



あゝ  
いそがし！

フジテレビ事業局は新しいイベントを次々と作り出して  
いる。コーギーボールも新しいスポーツを日本に紹介する  
画期的なイベントだ



しかし埼玉にとってフジ  
テレビのイベントプロデュ  
ーサーという肩書きは



女をひっかける道具以外の  
何ものでもなかった



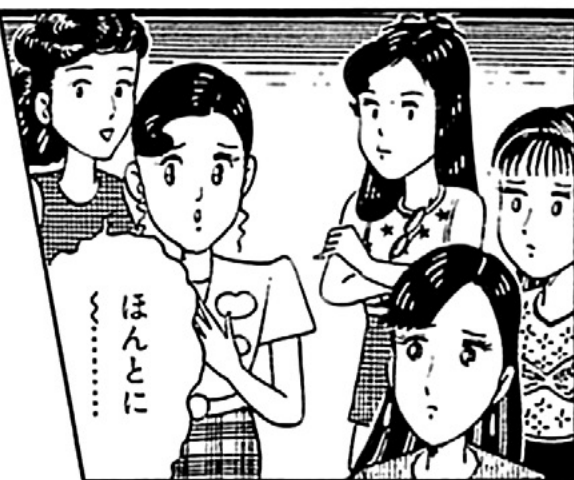
肩書きにものをいわせ  
調子のいい事を言って  
女をくどくのがいつも  
の埼玉の手口である



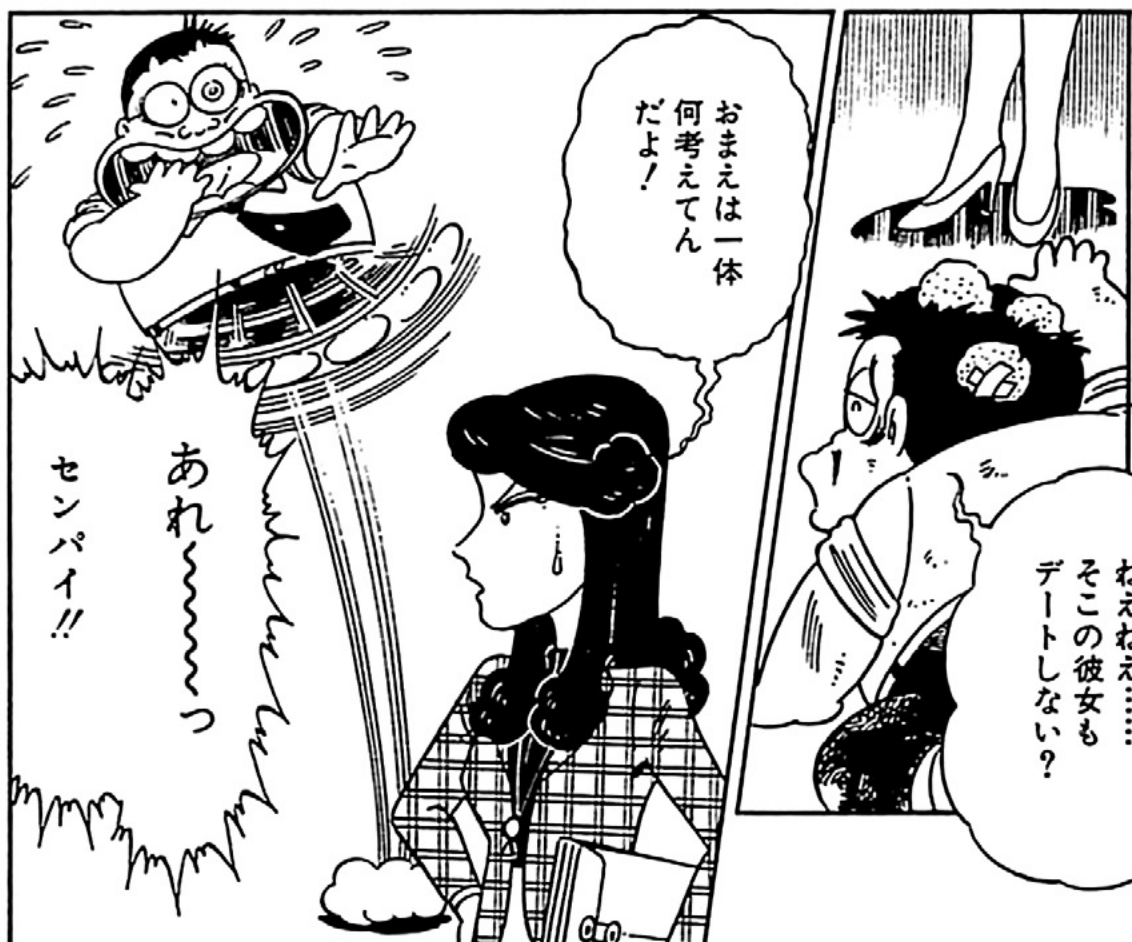
マジテレビイベントプロデューサーということばにつられる女も多いが



中身をみやぶられて  
ふられるのもまた早い



ほんとに  
……



おまえは一体  
何考えてん  
だよ!

ねえねえ……  
その彼女も  
デートしない?

センパイ!!

あれ~~~~

アホーウ



コージーボールなら  
反則だ!

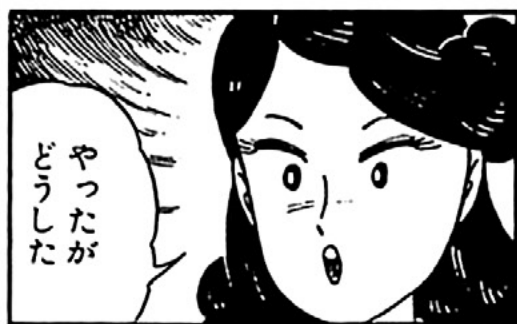
反則だ  
反則だ



プロデューサーのボクに  
よくもやったな!

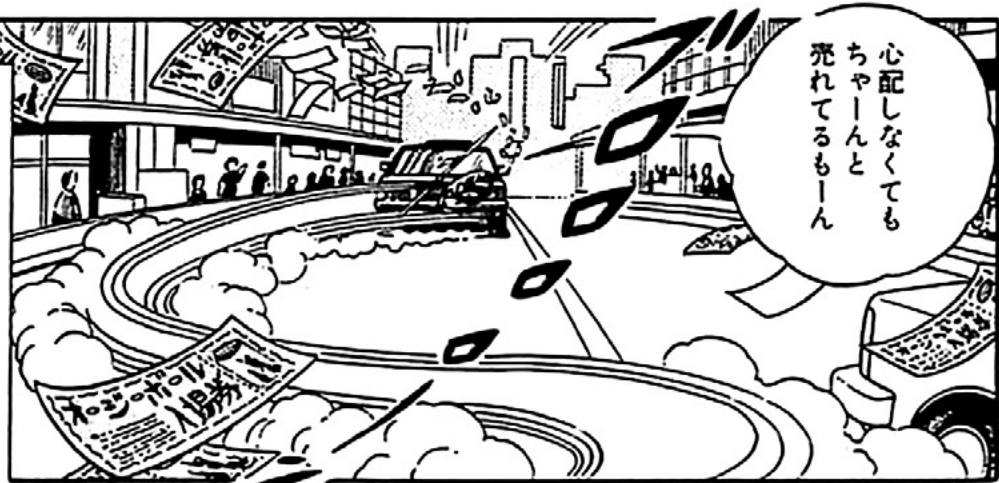
さっさと  
チケットを  
売ってこい!

やったが  
どうした



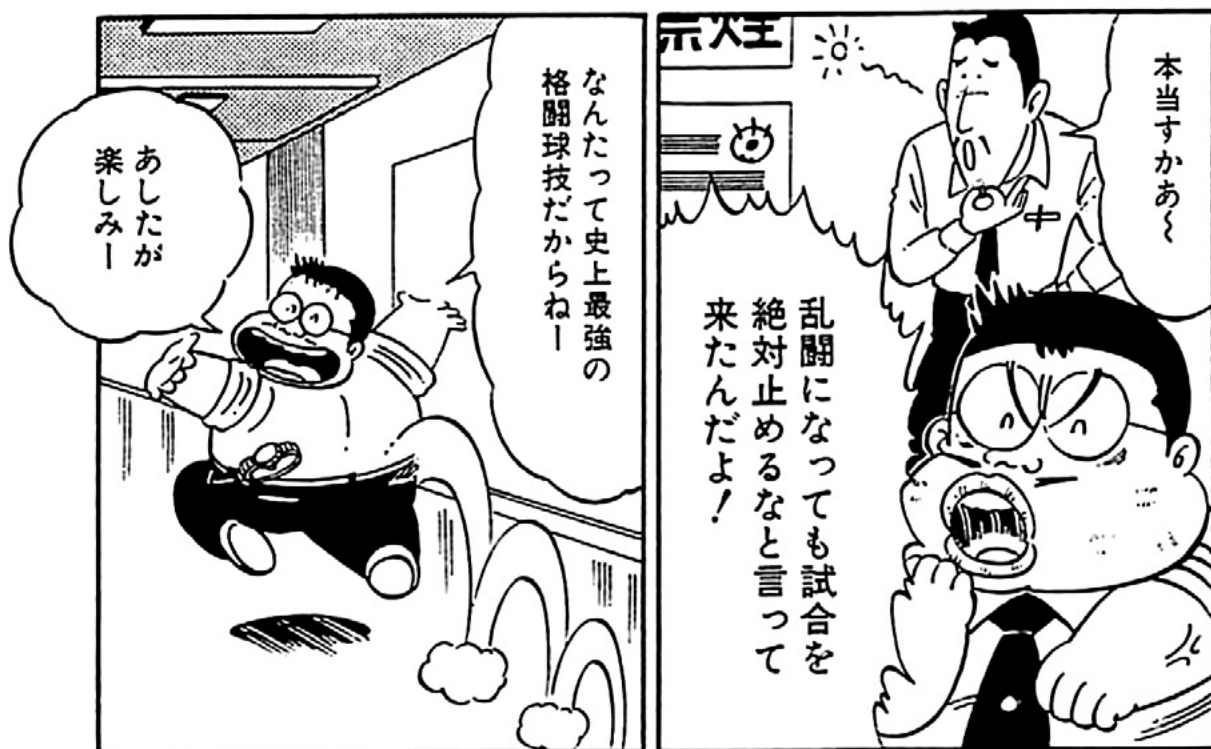
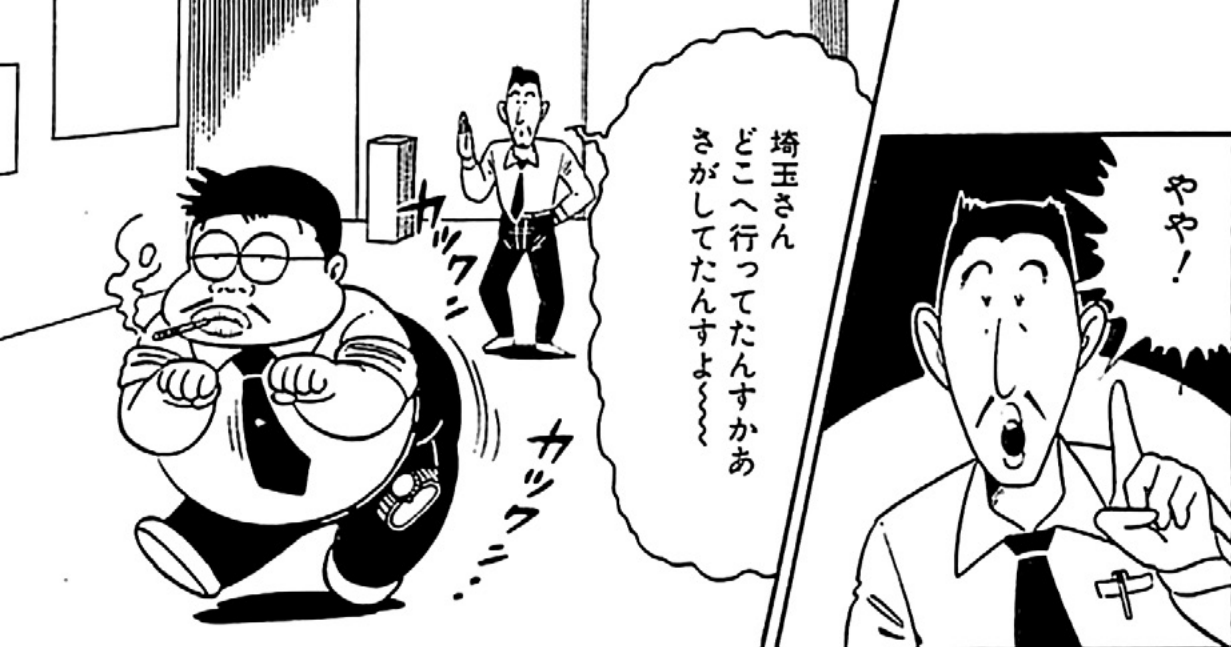
心配しなくても  
ちやんと  
売れるもん

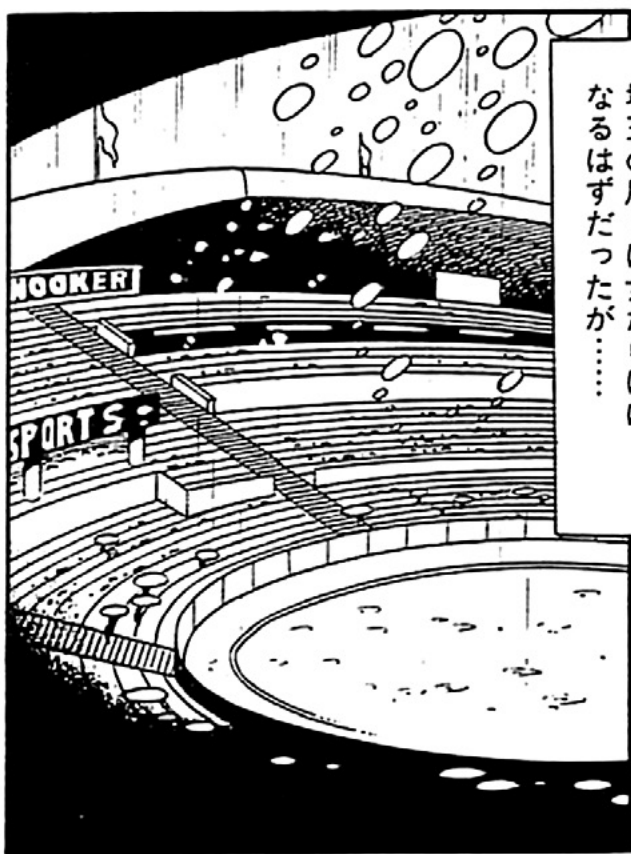
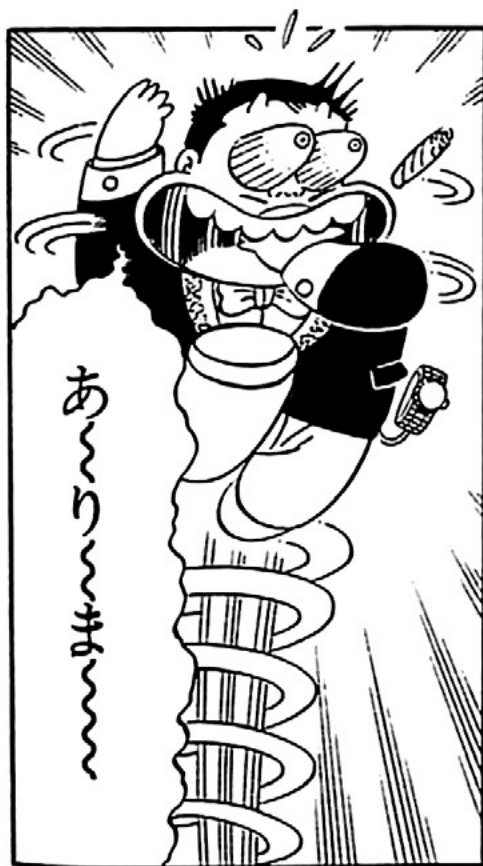
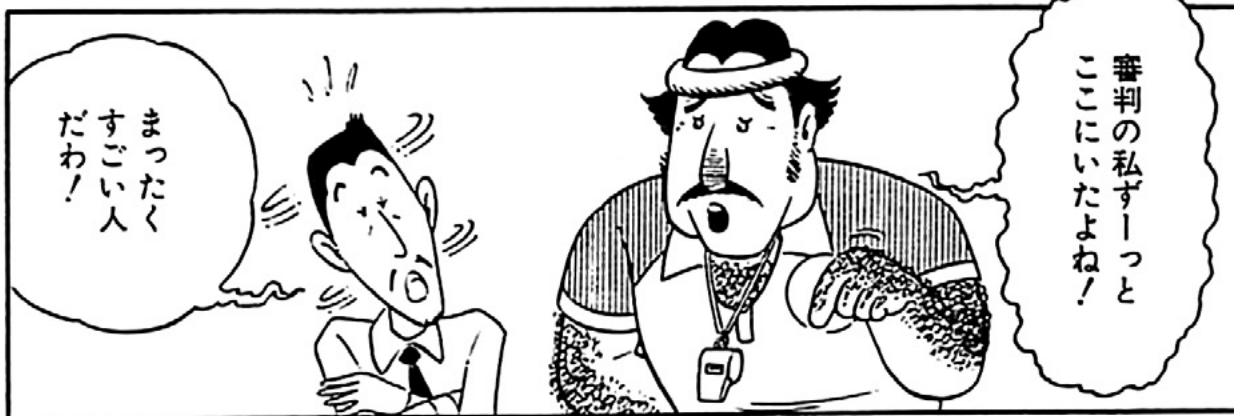
——といいつつ 埼玉は  
知っている限りの女に  
チケットをすべて売りまくった











雨が降ったのをいいことに  
前の晩から無理矢理  
連れてきた女の子以外は  
誰も来なかった



一方試合は大い  
に盛り上がった

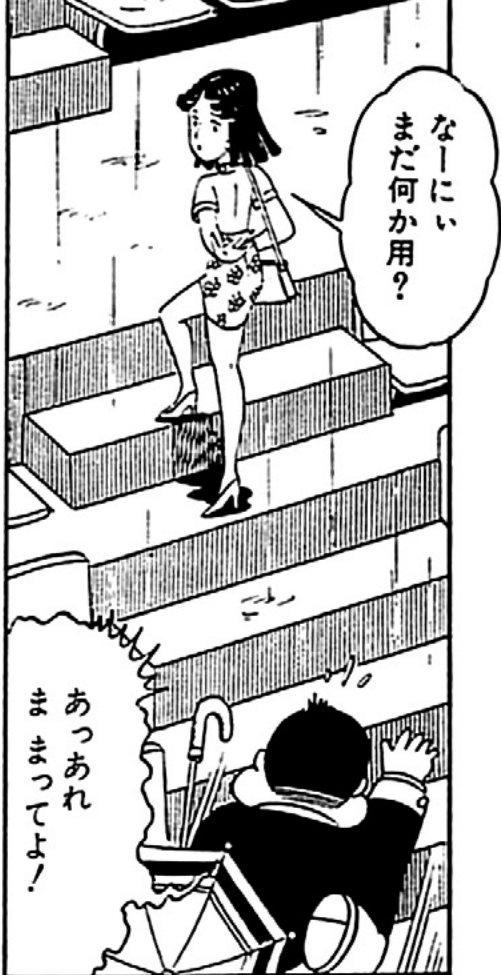


女たらしの埼玉に「男らしさ」を見せて  
けるような激しい試合だった



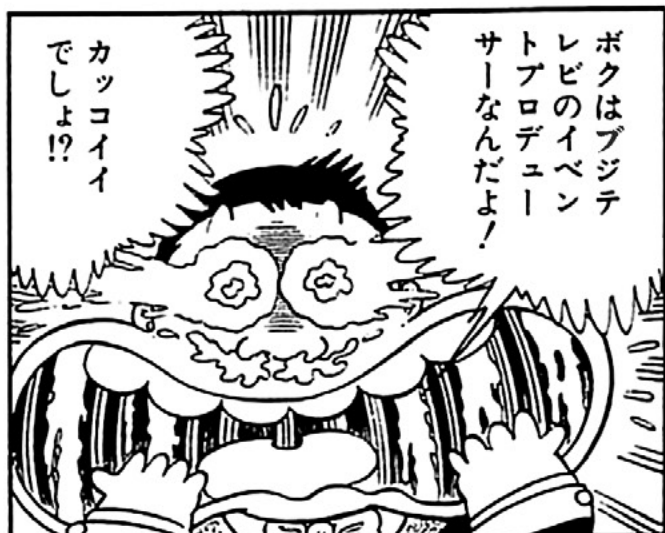


キミはボクのことだけを好きだったんじゃないのか



なーい  
まだ何か用？

あっあれ  
まきつてよー



ボクはブジテ  
レビのイベン  
トプロデュー  
サーなんだよ！

カッコイイ  
でしょ!?



いわせて  
もらうけど  
私の彼は  
〇〇商事の  
ジュニア  
なんだから



たいした  
たまげた！

ズズズ

女の尻ばかり追いかけてないでまじめにやれーっ!

それもすぐに忘れた

あっ  
そうだ!!



イリュージョンの客の入りを見てきまーす

彼は女を引っかけに行くときだけ動作が機敏になる



ねえ  
ねえ

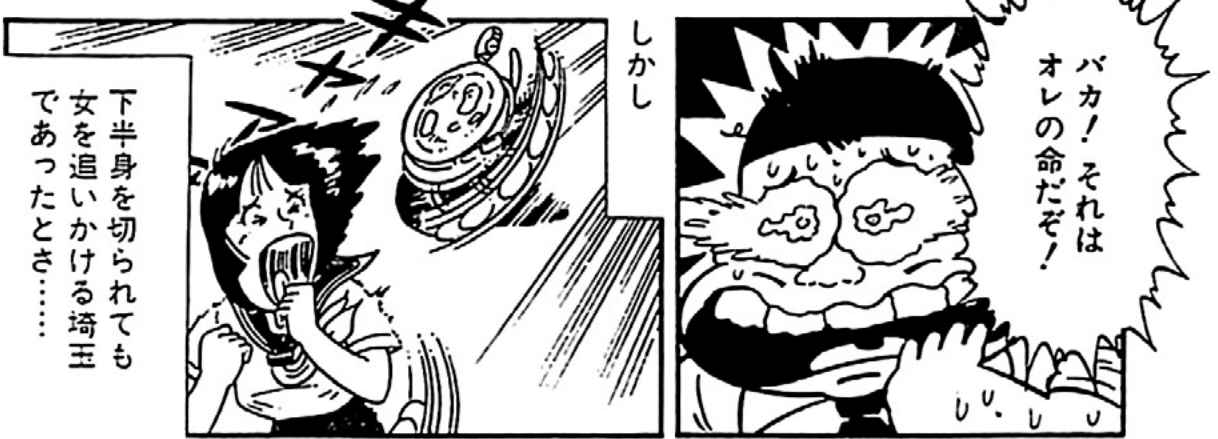
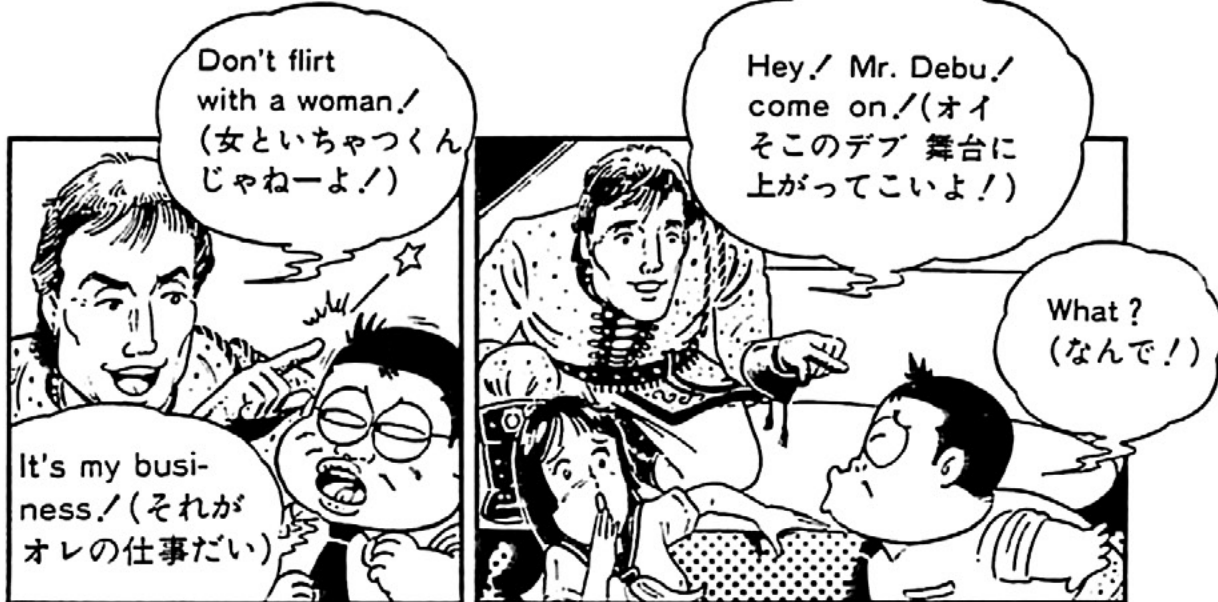


ぼくはフジテレビのイベントプロデューサーなんだけどさあ…

デートしてあげるっちゅーに!

いざーん





▶ END

※この物語は事実に限りなく近いフィクションです。